

2026年9月期 第3四半期 決算説明資料

成友興業株式会社

(名古屋証券取引所メイン市場:9170)

1

会社概要

(会社概要・パーパス・ミッション)

4

2

2026年9月期 第3四半期実績

6

3

2026年9月期 セグメント別実績

(環境事業・建設事業・環境エンジニアリング事業)

8

4

株主還元策について

15

1

会社概要

(会社概要・パーパス・ミッション)

4

2

2026年9月期 第3四半期実績

6

3

2026年9月期 セグメント別実績

(環境事業・建設事業・環境エンジニアリング事業)

8

4

株主還元策について

15

会社概要

会 社 名	成友興業株式会社
設 立	1975年 3 月12日
本 社	東京都あきる野市（本店は東京都中央区）
代 表 者	代表取締役社長 細沼順人
資 本 金	377,760千円（2026年 6 月末現在）
従 業 員 数	連結368名（2025年 9 月末現在）
事 業 内 容	環境事業・建設事業・環境エンジニアリング事業・ その他の事業
連 結 子 会 社	6 社：成友エコプラスワン(株)・成友マテリアルワン(株) 木本建興(株)・(株)武蔵野トランスポート・令友工業(株)・ 成友セキュリティ(株)

パーパス

「次世代のために、社会に資する。」

ミッション

地球環境にやさしい都市更新を支える企業を目指す。

1

会社概要

(会社概要・パーパス・ミッション)

4

2

2026年9月期 第3四半期実績

6

3

2026年9月期 セグメント別実績

(環境事業・建設事業・環境エンジニアリング事業)

8

4

株主還元策について

15

2026年9月期 第3四半期（累計） 経営成績

- 連結売上高、営業利益ともに各セグメントが順調に進捗したことにより増加。
- M&Aを行ったグループ各社において事業改革並びにリソースを注入。
(顧客層を優良顧客に入替え、人材・設備・資金の投入)

単位：百万円	25/9月期 3Q累計	26/9月期 3Q累計	前年 同期比	26/9月期 業績予想(開示済)	進捗率
売上高	11,367	13,415	118.0%	17,835	75.2%
売上総利益	2,111	2,525	119.6%	-	-
販売費及び 一般管理費	1,217	1,346	110.6%	-	-
営業利益	893	1,178	131.9%	1,234	95.5%
経常利益	812	1,091	134.3%	1,107	98.6%
純利益	424	593	140.0%	658	90.1%

1

会社概要

4

(会社概要・パーパス・ミッション)

2

2026年9月期 第3四半期実績

6

3

2026年9月期 セグメント別実績

8

(環境事業・建設事業・環境エンジニアリング事業)

4

株主還元策について

15

セグメント別業績ハイライト

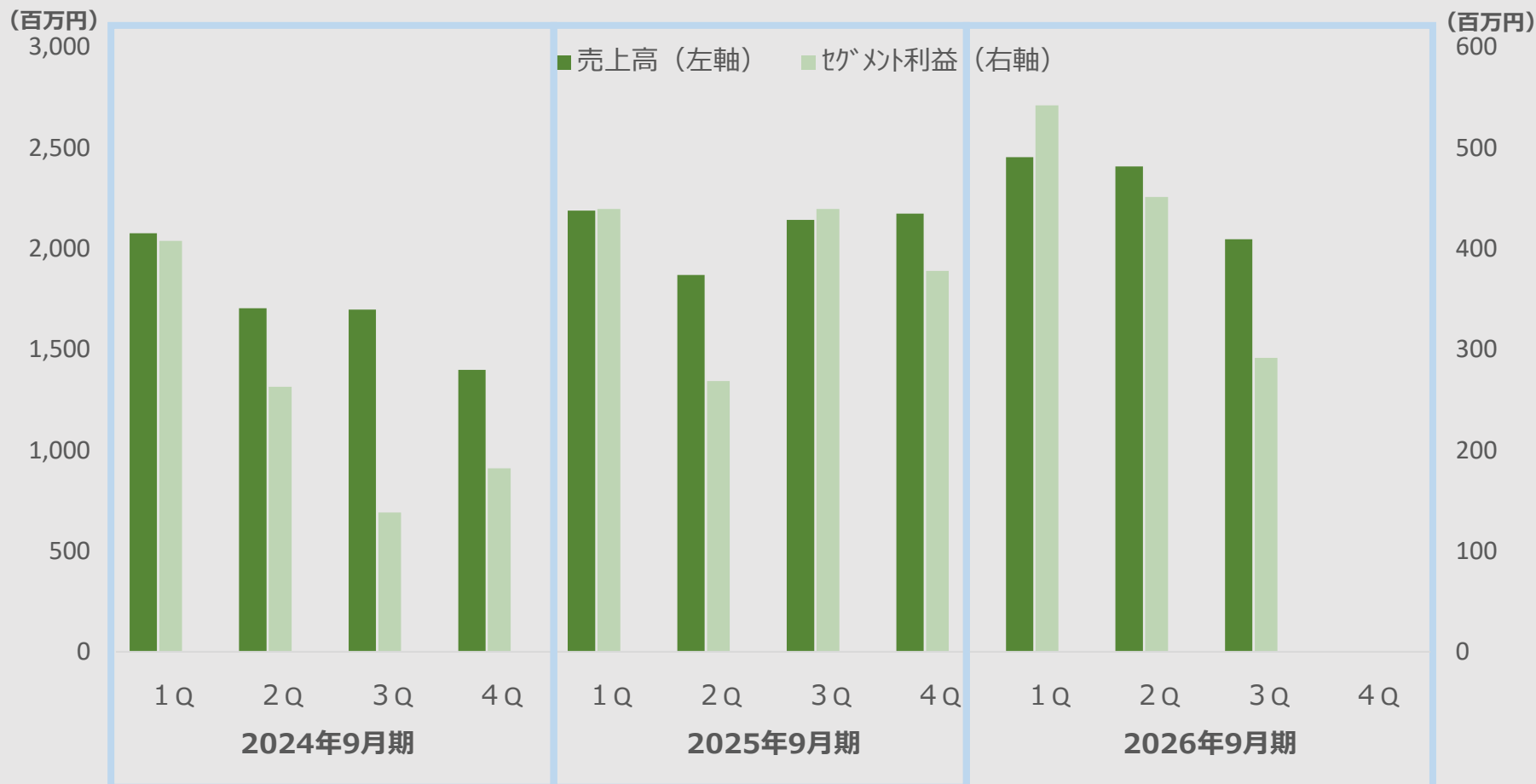
- 環境事業は、産業廃棄物及び汚染土壌の受入量の増加（3Q累計）により**増収増益**。
- 建設事業は、一般土木や水道施設等の工事がグループ全体で順調に進捗したことにより**増収増益**。
- 環境エンジニアリング事業は、大型の土壌汚染対策工事が順調に進捗したことにより**増収増益**。

単位：百万円	25/9期 3Q累計	26/9期 3Q累計	前年同期比
環境事業	6,200	6,907	111.4%
建設事業	4,413	5,347	121.2%
環境エンジニアリング事業	403	899	222.9%
その他	350	261	74.6%
調整額	▲59	▲118	—
売上高合計	11,367	13,415	118.0%
環境事業	1,147	1,284	112.0%
建設事業	389	542	139.2%
環境エンジニアリング事業	8	77	926.4%
その他	21	8	40.7%
調整額	▲673	▲734	—
セグメント利益合計	893	1,178	131.9%

※セグメント利益の調整額の内容には、のれんの償却費△164百万円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用△583百万円及びセグメント間取引消去△13百万円が含まれております。

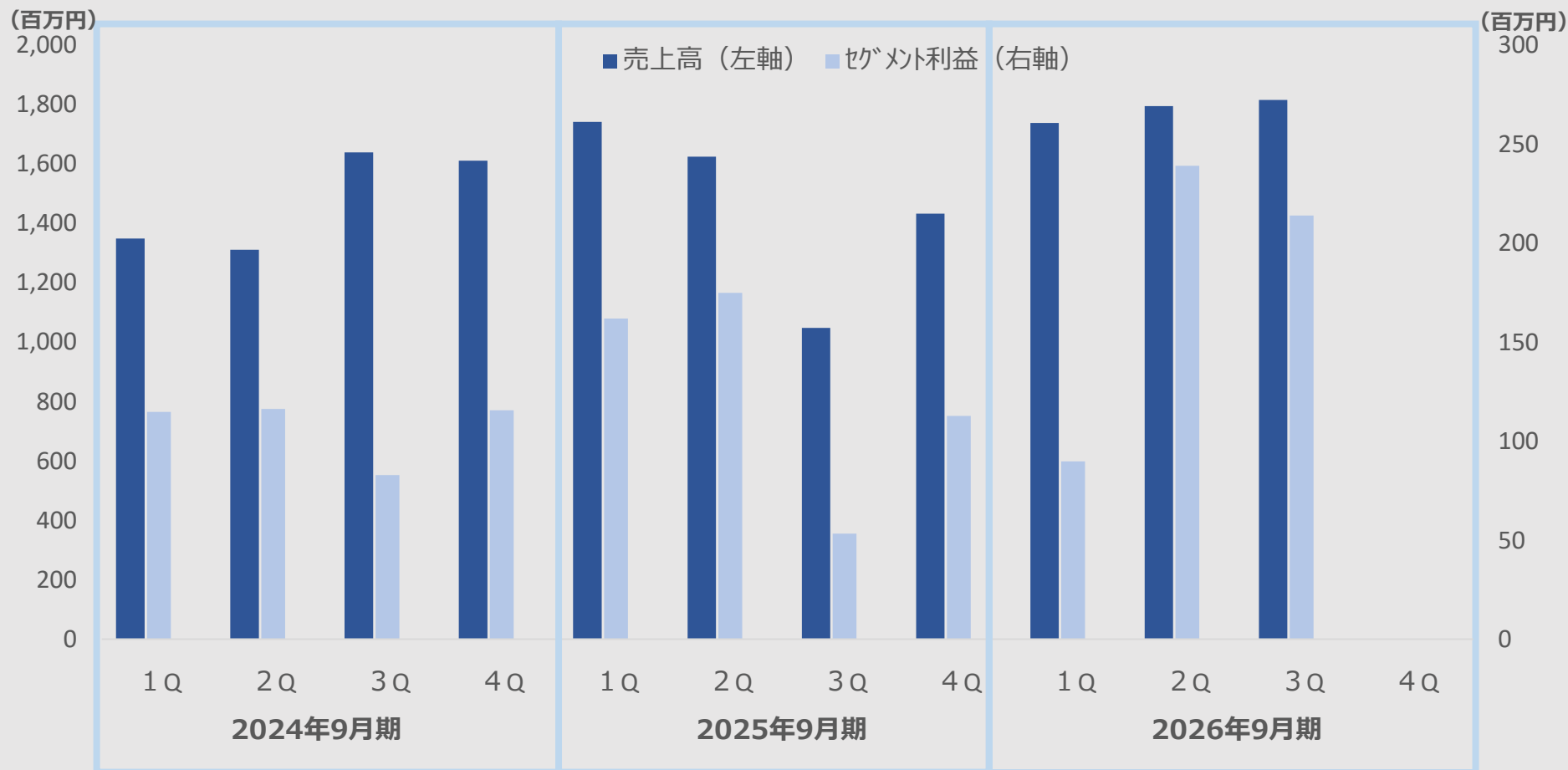
環境事業 売上高・セグメント利益の四半期推移

- 第3四半期（3カ月）においては首都圏の大型再開発工事での施工遅延により受入量が減速傾向であったものの、第4四半期以降の受入量は回復する見込み。
- 建設発生土の最終処分場である「青梅事業所」を稼働したことにより、一部業績に寄与



建設事業 売上高・セグメント利益の四半期推移

- 当社では、約7億円規模の一般土木工事を含む官庁繰越工事及び東京都が進める「海の森」プロジェクト等の新規受注工事が順調に進捗。
- グループ会社においては、区画整理事業や水道施設工事等の繰越工事が進捗。



建設事業 受注高の推移

- 受注高は、前年通期との比較において第3四半期で既に118%を達成。
- 工種の多角化を一層進めるべく、水道施設に加え管更生工事を受注。
- 第2四半期に引き続き、グループ全体で大型の官公庁工事の受注を確保。

単位：百万円	22/9期 実績	23/9期 実績	24/9期 実績	25/9期 実績	26/9期 3Q実績	今期3Q/ 前期1年分
受注高推移	4,137	5,424	4,908	7,046	8,300	118%

※22/9期～25/9期実績は、有価証券報告書記載の受注高です。

※26/9期（3Q実績）の受注高は、グループ全体の受注高の単純な合計値です。

2026年9月期新規受注案件（累計）

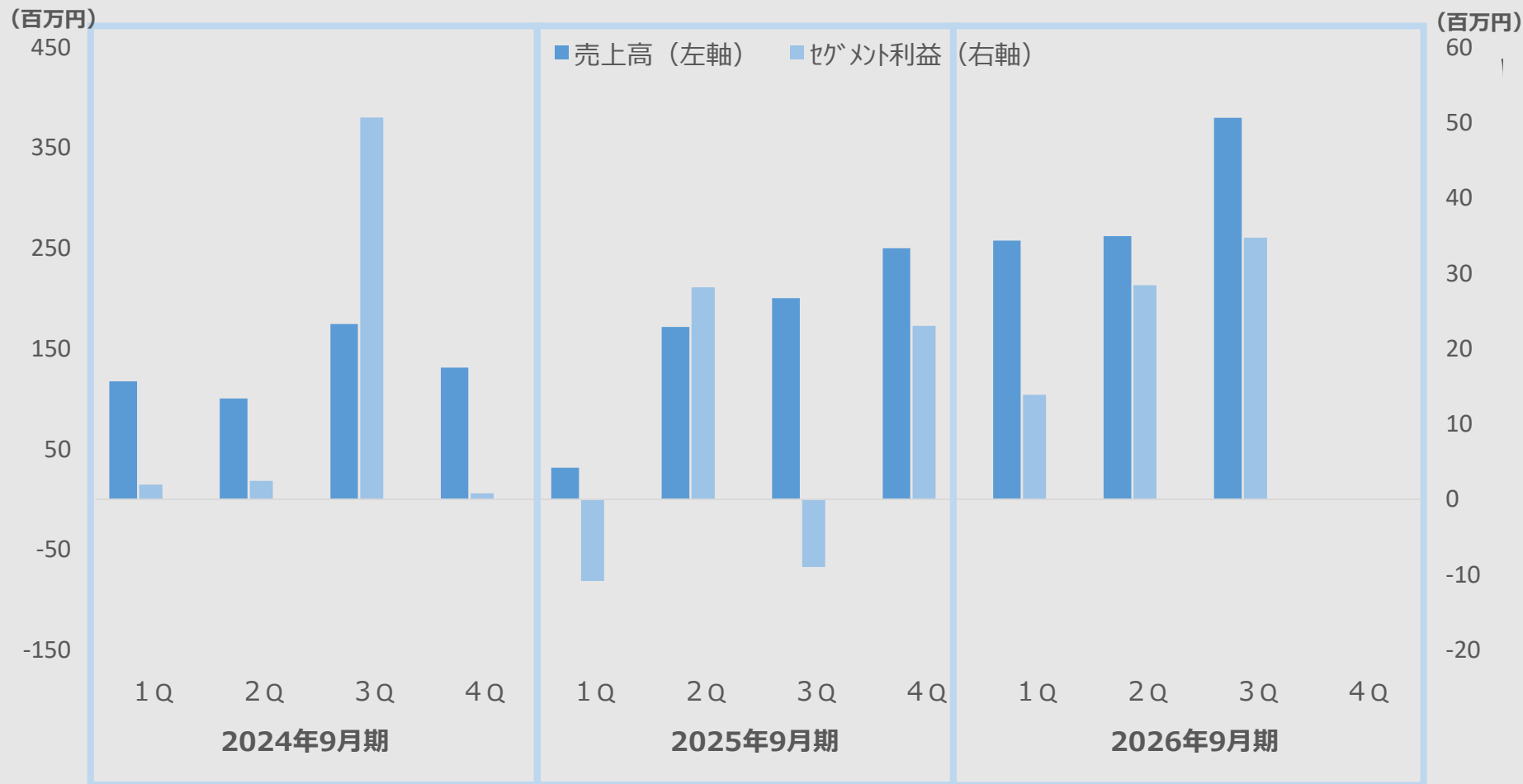
※受注金額順（グループ会社含む）

※JV工事は当社請負分を記載。

■ 東京都水道局	水道施設工事（上部浄水場導送水ポンプJV）	1,947百万円
■ 東京都財務局	一般土木工事（南多摩尾根幹線）	1,194百万円
■ 東京都水道局	水道施設工事（野上本管）	630百万円
■ 相模原市	水道施設工事（A & A JV）	397百万円

環境エンジニアリング事業 売上高・セグメント利益の四半期推移

- 第3四半期においては、受注した大型工事のうち、大規模工場跡地における油汚染土壌の対策工事が順調に進捗。
- また新規の案件が着工したことにより売上・セグメント利益共に堅調に推移。

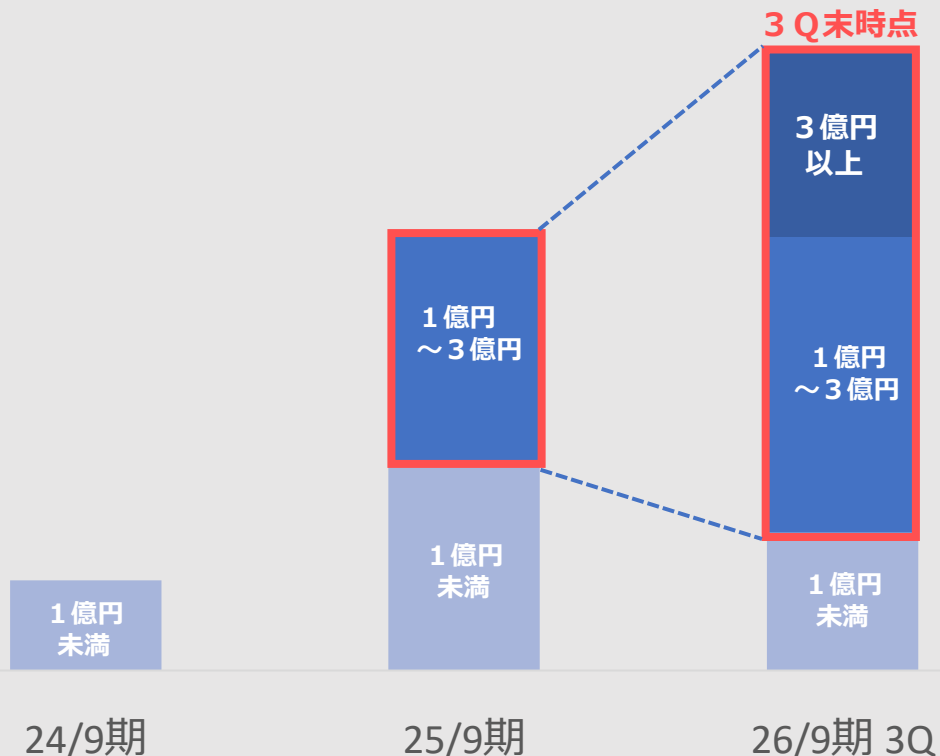


環境エンジニアリング事業 成長戦略への取り組み

- 工事の大型化と土壌汚染対策工事工法の多角化について、重点施策として強化
- 工事規模の拡大により、工期が長期化したことで技術者が途切れることなく稼働し、**継続した実施高を確保しつつある。**

請負金額別受注高の推移

■ 1億円未満 ■ 1億～3億円未満 ■ 3億円以上



受注における工種別の割合



1

会社概要

(会社概要・パーパス・ミッション)

4

2

2026年9月期 第3四半期実績

6

3

2026年9月期 セグメント別実績

(環境事業・建設事業・環境エンジニアリング事業)

8

4

株主還元策について

15

株主還元策について

2026年9月期 配当予定

1 株当たり配当金

14円00銭

基本方針

当社は、継続的な成長と株主の皆様への利益還元を経営の重要戦略のひとつとして位置づけており、継続的な成長のための財務体質の強化と株主の皆様への継続的かつ安定的な利益還元とのバランスを勘案しつつ、株主の皆様への利益還元を充実していくことを基本方針としています。

株式分割並びに配当予想の修正

当社は、2026年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。

本資料における注意事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されており、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。また当社は、記載内容に重要な変動がある場合を除き、本資料の記述を修正する予定はありません。

本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、当社の有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。